共通事項

1　各項目の※及び・の適用は特記仕様書と同じとする。
2　（O－OO－O）内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す。
3　特記以外の建物内部の木部は、EP－Gとする。ただし、和室まわりの木部は塗装なしとする。
4　特記以外の鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面は、SOP塗りとする。ただし、建物内部はEP－Gとする。
5　備考欄の「測定対象室（　）」は、特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（　）内数値は測定箇所数を示す。
6　略号は下表による。

略　号	仕上材等	略　号	仕上材等
RC（　）	床：改修標仕表8.1.4による 壁、天井：コンクリート打放し（種別） 種別は改修標仕表8.1.3による。 種別の記載がない場合はコンクリート打ちのままとする	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
		EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
		EP－T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
		EP－G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
		AE	アクリル樹脂エナメル塗り
CB	コンクリートブロック積み	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り
NC	ビニル床シート	2－FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り
CT	ビニル床タイル（半硬質）	2－UE	2液型ポリウレタンエナメル塗り
CTS	ビニル床タイル（軟質）	2－ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
HT	ホモジニアスビニル床タイル	CL	クリヤラッカー塗り
VT（E）	帯電防止ビニル床タイル	AC	アクリル樹脂ワニス塗り（アクリル樹脂クリヤ塗り）
VB	ビニル幅木	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
WB	木製幅木	OS	オイルステイン塗り
GB－R	せっこうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
GB－L	せっこうラスボード		
GB－NC	不燃積層せっこうボード（化粧なし：下地張り用）		
GB－NC（T）	不燃積層せっこうボード （化粧あり：トラバーチン模様）		
GB－D	化粧せっこうボード（木目）		
GB－S	シージングせっこうボード		
GB－F	強化せっこうボード		
ケイカル板	けい酸カルシウム板（タイプ2）		
ケイカル板（P）	吸音用穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板		
DR	ロックウール化粧吸音板（フラットタイプ）		
DR（凹凸）	ロックウール化粧吸音板（凹凸タイプ）		
DR（軒天）	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：フラットタイプ）		
DR（軒天凹凸）	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：凹凸タイプ）		
RW－B	ロックウール吸音ボード		
GW－B	グラスウール吸音ボード		
MDF	ミディアムデンシティファイバーボード		
HB	ハードボード		
IB	インシュレーションボード		
PF板	押出法ポリスチレンフォーム保温板		
RW	ロックウールガラスクロス張り		
GW	グラスウールガラスクロス張り		

外部仕上げ

床

（1）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	既存詳細番号	改修後詳細番号
コンクリート直均し仕上げ		（1－01－3：t＝10）
一般床タイル、ユニットタイル		（1－01－5）
大形床タイル		（1－01－6）
石材（石厚50mm以下）		（1－01－9）
モルタル、防水モルタル		（1－01－1）
誘導用・注意喚起用床材		（1－01－7）

（2）改修後の異なる床仕上げの取合いでくつずり、目地棒がない場合は（4－31－3）による。

壁、柱、梁

（1）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	既存詳細番号	改修後詳細番号
外装タイル（密着張り）		（2－01－4）
外装タイル（マスク張り）		（2－01－7）
石材（外壁湿式工法、石厚40mm未満）		（2－02－1）
モルタル、防水モルタル		（2－02－13）
コンクリート打放し、仕上塗材、塗装		（2－02－8～12）

（2）改修後のコンクリート打放しの出隅面取りは20mmとする。
（3）改修後の下がり壁の仕上げは壁と同じとする。

腰

※壁、柱、梁に同じとする。
・

屋　根

（1）特記以外の下地及び仕上げは下記による。

既存の仕上げ種別	改修工法	改修後の仕上げ種別

軒　天

（1）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	既存詳細番号	改修後詳細番号
DR（軒天）		（3－01－4）
金属成形板		（3－01－9）

（2）改修後のDR（軒天）の下張りはGB-S厚さ12.5mmとする。

庇

※壁、柱、梁、屋根、軒天に同じとする。
・

内部仕上げ

床

（1）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	既存詳細番号	改修後詳細番号
NC、CT、CTS、HT		（1－01－4：t＝10）
タイル		（1－01－5、－6）
カーペット		（1－02－4、－5）
畳		（1－02－3）
天然木化粧複合フローリング		（1－02－8）
コンクリート直均し仕上げ、塗床、床用塗料、防塵用塗料		（1－01－3：t＝10）
モルタル、防水モルタル		（1－01－1）

（2）改修後の異なる床仕上げの取合いでくつずり、目地棒がない場合は（4－31－3）による。

幅　木

（1）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	既存		改修後	
	詳細番号	高さ（mm）	詳細番号	高さ（mm）
VB			（2－11－1）	※60　・
WB（樹種　※杉　・　　）			（2－11－4）：CL仕上げ	※60　・
NC（ビニール床シート立上げ幅木）			（2－11－2）	※60　・

壁、柱

（1）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	既存詳細番号	改修後詳細番号
ボード張り（RC又はCB下地）		（直張り工法：接着材＝11～13mm）（1枚張り）
ボード張り（軽量鉄骨壁下地：一般壁）		（2－22－1）（2－24－4及び5：継目処理の場合）
ボード張り（軽量鉄骨壁下地：遮音壁）		（2－23－1）（2－24－4及び5：継目処理の場合）
内装タイル（RC又はCB下地）		（2－01－2）
モルタル		（2－02－13）
吸音材張り（RC又はCB下地）		（2－02－14）

（2）特記以外のボード類は下記による。

種　別	既存		改修後	
	厚さ（mm）	備　考	厚さ（mm）	備　考
GB－R			12.5	塗装仕上げ及び壁紙張りの場合は継目処理（2－03－6）（2－03－10） ただし、仕上げ等行わない場合は突付け（2－03－9）（2－03－13）とする。 （二重張りは特記なき限り上張り、下張り共、同一ボードとする）
ケイカル板			8	突付け（V目地） （2－03－17：下地張りはGB－S） （2－03－12：下地張りは ・GB－S　・ケイカル板）

壁、柱

（3）改修後のコンクリート打放しの出隅面取りは10mmとする。（梁形共）
（4）改修後の下がり壁（3－12－1：・塩ビ製見切り線　・アルミ製見切り線）の仕上げは壁と同じとする。
ただし、下地張りはなしとする。
（5）改修後のボード壁とRC又はCB壁との取合いは（2－24－6：継目処理の場合　塩ビ製見切り線）とする。
（6）改修後のボード壁とサッシ取合いは（2－24－7）とする。
（7）改修後の押入（6－46－1）の壁はGB－R厚さ12.5mm塗装なし突付けとする。
（8）改修後の内装タイルを、軽量鉄骨壁下地のボード面に接着張りを行う場合のボードは、（2－01－3）、（2－03－13）による。

天　井

（1）軽量鉄骨天井下地は（3－21－1）（3－21－2）（3－21－3）（3－41）（3－42）とする。
（2）特記以外のボード類は下記による。

仕上げ種別	既存		改修後	
	詳細番号	厚さ（mm）	詳細番号	厚さ（mm）
DR			（3－01－4）	※9　・12
DR（凹凸）			（3－01－4）	※12　・15
ケイカル板			（3－01－2）V目地	6
GB－NC（T）			（3－01－2）	9.5
GB－D			下地は製造所の仕様とする	12.5
RW又はGW			（3－01－12）	25

（3）改修後の押入（6－46－1）の天井はGB－R厚さ12.5mm塗装なし突付けとする。
（4）改修後の壁～天井の取合いは天井付き目地（3－11－3、4、7、8：※塩ビ製見切り線　・アルミ製見切り線）とする。
（5）DRの下張りは　※GB-R厚さ12.5mm　・GB－NC 厚さ9.5mmとする。
（6）改修後のGB－NC（T）の大きさ　※910×455mm　・910×910mm
（7）改修後の塗装仕上げ及び壁紙張りの場合はGB－R厚さ12.5mm（継目処理）とする。

下地区分欄の略号

C：コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ALC下地、押出成形セメント板下地
S：軽量鉄骨下地
W：木造下地　　PF：ポリスチレンフォーム床下地板（床下地のみ）
M：モルタル下地　　FA：フリーアクセスフロア
B：ボード類

既存外部仕上げ

床	改修内容	腰	改修内容	壁・柱	改修内容	屋根	改修内容	庇上端	改修内容	庇下端	改修内容	庇はな	改修内容

改修後外部仕上げ

床	改修内容	腰	改修内容	壁・柱	改修内容	屋根	改修内容	庇上端	改修内容	庇下端	改修内容	庇はな	改修内容

既存内部仕上げ

階	室名	下地区分	床	改修内容	下地区分	幅木（腰）	改修内容	下地区分	壁	改修内容	下地区分	天井	改修内容	備考

改修後内部仕上げ

室名	下地区分	床	改修内容	下地区分	幅木（腰）	改修内容	下地区分	壁	改修内容	下地区分	天井	改修内容	備考

改修内容凡例

既存	改修
A：仕上げ撤去	a：仕上げ新設
B：図示の仕上げ撤去	b：図示の仕上げ新設
C：下地共撤去	c：下地共新設
D：図示の下地共撤去	d：図示の下地共新設
E：下地の調整	e：塗装の塗替え
F：既存のまま	f：既存のまま

共通事項
1．間仕切りの撤去・新設等の位置は、平面図による。

工事設計図
改修仕上表（1）
平成20年版

SAMPLE